



関 中 学 校 だ よ り

第3号 平成24年6月26日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

1 2 2 2 人

校長 勝亦章行

平成24年度 第38回 運動会が、6月2日(土)開催されました。昨年度は、天候不順のため順延となりましたが、今年度は天気に恵まれ、予定した日に開催できました。

運動会には、来賓38人、地域の方等44人、保護者と家族の方926人、合わせて1222人が来校していただきました。生徒数449人。その2倍以上の方が来ていただいたこととなります。感謝します。

3年修学旅行が6月14日～16日に実施されるため、昨年より1週間ほど早い実施となりました。生徒は、実行委員会を中心に、朝練習、学年練習、全体練習の中で頑張り、当日は、最後まで「全力で取り組む姿」を見せることができました。

運動会は、学級対抗で、色別で雌雄を決する面も確かにあります。しかし、その過程で得られた学級での和、団結が全学級で得た貴重な財産だと考えます。



生徒会役員を先頭に入場行進



1年 いかだ流し



2年 タイフーン∞ (エイト)



3年 ローハイド



伝統のムカデ競争 (全学年)

	学 級
色別優勝	赤 (C組)
準優勝	黄 (A組)
3位	橙 (E組)
1年 優勝	1年C組
2年 優勝	2年A組
3年 優勝	3年C組
選抜むかで	
男子 優勝	3年A組
女子 優勝	2年A組

6月・7月 行事予定

日 曜	予 定
2 土	第38回運動会
4 月	振替休日
6 水	3年区学力調査
7 木	3年歯科検診、3年修旅健康相談
9 土	土曜授業、道徳授業地区公開講座、教育実習終
10 月	生徒朝礼
11 火	SC来校
14 木	3年修学旅行1日目、校区别協議会
15 金	3年修学旅行2日目、区立学校一斉防災訓練、心の相談員来校
16 土	3年修学旅行終
18 月	3年振替休日
19 火	SC来校
20 水	区中研優先日
21 木	耳鼻科・眼科検診
26 火	中間考査(国語・社会・数学)
27 水	中間考査(音楽・英語・理科・美術)
29 金	3年第1回進路説明会
3 火	2年職場体験、SC来校、給食試食会
4 水	2年職場体験
5 木	2年都学力調査、中P連情報交換会
6 金	1年校外学習、心の相談員来校、PTA教養講座
9 月	岩井臨海保護者会
10 火	三者面談始、2年オーケストラ鑑賞教室、SC来校
14 土	土曜授業
16 月	海の日(祭日)
17 火	SC来校
18 水	三者面談終
19 木	避難訓練
20 金	全校集会、セーフティ教室
21 土	夏休み始
27 金	1年岩井臨海始
30 月	1年岩利臨海終

★**道徳授業地区公開講座** 土曜授業として最初の土曜日。講師を招いての講座でした。

I 1校時（1・2年生対象）国際理解「米国社会の善意と倫理」

講師：畠山 襄 先生（財団法人 国際経済交流財団会長）



講演される畠山先生



1・2年生及び保護者

畠山先生は、国家公務員として37年間、通商産業省で数々の通商交渉に携わった経験から次のような講演をしてくださいました。

(1) 日本のよさ

- ①経済力が高い。世界第3位
- ②犯罪率が低い。

③世界で一番貢献している国に選ばれた。（イギリス BBC）

(2) 日本人のよさ

- ①東日本大震災のときの沈着な対応ぶり（外国であった略奪暴動が起きてもおかしくない）
- ②親切である。

(3) 国際化の時代に、中学生として身に付けておくこと

- ①礼儀作法 あいさつ（親しき仲にも礼儀あり。中学生までに身に付けなければならない）
- ②相手にいい感じを与えるように努めることができる。（自分が相手に好感をもつようにすると、自然に相手も自分に好感をもつ）
- ③先輩が大変な苦勞をしてくれたから今の日本がある。祖父祖母父母の努力に対して敬意をはらい、自分自身も努力すること。
- ④自分の得意な分野を探し、普段から関心をもってその分野に進められるように勉強する。目標を立てること。

(4) 内なる道徳律をつくれ！

- ①何か失敗しても、隠してはいけない。（自分自身で善悪を判断し、実行する内なる道徳性を持つ）

II 2校時（3年生対象）国際理解「世界の中の日本」

講師：高坂節三 先生（財団法人 日本漢字能力検定協会理事長・前東京都教育委員）



講演される高坂先生



3年生及び保護者

高坂先生は、大学卒業後商事会社に入社され、今までにおおよそ80ヶ国で仕事をされた経験を通して世界の中の日本について次のような講演をしてくださいました。

まず、3年生が修学旅行（6月14～16日）と近いこともあり、旅につ

いて話があった。「旅は、人生で一つの区切りをつけること」

京都の素晴らしさにもふれ、漢字検定協会で選定した『平成23年度 日本の一字「絆』についても話され、日本人の心のやさしさ、日本の素晴らしさについて話された。

(1) 世界の中の日本 海外に依存している部分が多い。日本にだけいて、日本だけのことを考えることはできない時代である。これからは、「知識」「国際的な視野」が大切になる。

日本の企業でも、日本語ができる外国人を雇用する会社も出てきている。まさしく実力が問われる時代になっている。知識、国際的な視野を持つ！

(2) 自分の考えが世界で通用することは少ない。自分とは違う考えをする人の方が多い。しかし、自分が日本を代表するという意識が大切である。そのためにもコミュニケーション能力は必要である。

(3) 日本は、世界で極めて特殊な国である。長い伝統文化をもっている国である。自国の文化、伝統、歴史をもっと知らなければならない。

(4) 日本人のよさは、世界が認められている。日本人は、「決めるのには時間がかかるが、決めたことは必ず守る」と言われている。自信をもって、努力せよ！！